ＰＤ

ＰＤ

2．現在までの研究状況（図表を含めてもよいので、わかりやすく記述してください。様式の変更・追加は不可(以下同様)）

（申請内容ファイル）

　① これまでの研究の背景、問題点、解決方策、研究目的、研究方法、特色と独創的な点について当該分野の重要文献を挙げて記述してください。

　② 申請者のこれまでの研究経過及び得られた結果について整理し、①で記載したことと関連づけて説明してください。その際、博士課程在学中の研究内容が分かるように記載してください。申請内容ファイルの「4.研究業績」欄に記載した論文、学会発表等を引用する場合には、同欄の番号を記載するとともに、申請者が担当した部分を明らかにして記述してください。

|  |
| --- |
| 研究の背景と問題点  　１．研究の一般的な背景（約５０〜７５文字）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。２．本研究における分野の背景（約５０〜７５文字）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。しかし、３．対象分野全般において問題が生じている原因（約２５文字）が困難であることから、４．問題点の説明（約２５文字）○○○○○○○○○○○○○○はほとんど明らかに（考慮）されてこなかった。  　最近になって、５．今回の研究テーマにおける、当該問題の状況（約５０文字）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○が明らかにされつつあるが[文献]、６．今回の研究で解決を目指す具体的な問題点（約２５文字）については未だに不明である。  　こうしたことから、７．この問題による弊害（最悪の未来）（約５０〜７５文字）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。  ２. 解決方策と研究目的  　８．問題解決のアイデアを理解するための背景（５０〜１００文字）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。申請者は、９．問題解決のアイデア（約５０〜１００文字）をすることで、○○○○○○○○○の問題を解決できるのではないかと考えた。そこで、本研究では、１０．研究目的（約〜５０文字）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○を目的として研究を行った。  図１　「何を明らかにしたか」を審査員にわかりやすく示すための図をいれます。  ここでは、図・説明文ともに幅70mmにしています。高さはおよび幅は本文と終わりを揃えるために微調整します。幅は、行末の単語にも影響しますので注意して変えます。図と説明文の幅は申請書全体を通して共通にします。図に枠や背景色は不要です。  ３．研究方法とこれまでの研究経過  （１）研究課題名１  　はじめに、１１．研究方法の説明１（約２５文字）○○○○○○○○を利用して、１２．具体的にしたこと（約３０文字）○○○○○○○○○○○○○○○を行った。これらの解析から、１３．明らかにしたこと１（約４０文字）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○を明らかにした。次に、１４．研究方法の説明２（約２５文字）○○○○○○○○を調べたところ、１５．明らかにしたこと２（約３０文字）○○○○○○○○○○○であった（図１）。  　さらに、このことを詳細に解析するため、１６．研究方法の説明３（約２５文字）○○○○○○○した。○○○○の解析の結果、１７．明らかにしたこと２（約３０文字）○○○○○○○○○○○ことを明らかにした。  　これらの結果は、１８．結果のまとめ（約３０文字）○○○○○○○○○○○○○○ことを示す。この○○○は全くの新奇なものであり、１９．達成したこと（約３０文字）○○○○○○○○○○○○○○を理解するうえで重要な発見となった。  図１　見出し  分野外の人にも図の見方がわかるように説明します。可能であれば、左の本文と高さがおなじになるように図や説明文の幅や長さで調節します。 |

申請者登録名

ＰＤ

|  |
| --- |
| （現在までの研究状況の続き）  （２）研究課題名２  　２０．研究方法２の背景（約２５文字）○○○○○○○ことが指摘されていることから[文献]、２１．着目点○○○○○○に着目した。２２．研究目的（約２０文字）○○○○○○を調べるため、２３．研究上の工夫など（約３０文字）○○○○○○○○○○○○○○を開発した。２４．研究上の工夫など（約３０文字）○○○○○○○○○○○の解析から、２５．明らかにしたこと１（約５０文字）○○○○○○○し、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ことを明らかにした。さらに、２６．明らかにしたこと2（約２５文字）○○○○○○○していることを示した。このことは、２７．結果のまとめ１（約３０文字）○○○○○○○○○○○を示唆している。また、２８．結果のまとめ２（約３０文字）○○○○○○○○○○○ことが示された。  　これらの結果から、２９．これまでの研究の結論１（約〜５０文字）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○を明らかにした。また、以前は３０．これまでの研究の結論２、特にこれまでとの違い（文全体で５０〜１００文字）であった○○○○を○○○○し、○○○○を明らかにした（図2）。こうした研究成果は、３１．達成したこと１（約３０文字）○○○○○○○○○○○○だけでなく、３２．達成したこと２（約３０文字）○○○○○○○○○○○○に多大なインパクトを与えるものとなった。また、○○○○○○は、３３．分野外の応用（約３０文字）○○○○○○○○○○○○につながると期待される。  　これらの成果は３４．外部発表（文全体で約５０文字）国際○○○学会で発表するとともに、○○○誌に掲載された。  （３）研究課題名３（現在やっていること）  図2　「何を明らかにしたか」を説明するための図をいれます。  図・説明文の幅や高さについて諸注意は図１と同じです。   * 幅は全ての図で共通。行末の単語を見ながら微調整 * 高さや説明文は左の本文と高さが同じになるように調整   　以上のように、３５．完成した研究の簡単まとめ（約２５文字）○○○○○○○。しかし、３６．未解決問題○○○○はいまだ多くの点で不明であり、○○○○○○○○はほとんど明らかにされていない。そこで申請者は、３７．やったこと（約３０文字）○○○○○○○○○○○○○○○を行った。３８．現在の進捗１（約３０文字）○○は、○○○と同様○○○○○を示していた。さらに、３９．現在の進捗２（約３０文字）○○○○であったことから、○○○○○であることが期待された。現在は、○○○・○○○・○○○などを通じて４０．現在の進捗３を解析しており、○○○○○○を明らかにすることを目指している。  図２　見出し  図１の説明文の注意と同じです。高さが同じになるように（文の終わりが揃うように）気をつけます。  ４．本研究の特色と独創的な点  　本研究で解析した△△△は当該分野に限らず、○○など多くの分野が抱える重要な問題である。今回、明らかになった４１．研究の特色、特に汎用性・一般性、(31〜33)とかぶらないように（文全体で約３００文字）によって、より幅広い視点から△△△を理解することが可能になった。このような、分野を超えた普遍的な視点で、△△△という重要な問題の解決を目指すアプローチが本研究の特色である。  　さらに、本研究で用いたXXXXは申請者の独自の着想により開発した手法である。この方法は、○○○と組み合わせるなど様々な応用が可能であり、その適用範囲は広い。本研究成果は、XXXの有効性を示す良いモデル系としても有用であり、関連分野に大きなインパクトを与えた。 |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　申請者登録名

3．これからの研究計画

(1) 研究の背景

　　2.で述べた研究状況を踏まえ、これからの研究計画の背景、問題点、解決すべき点、着想に至った経緯等について参考文献を挙げて

記入してください。

|  |
| --- |
| 4２．研究の一般的な背景（約５０〜７５文字）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。４３．本研究における分野の背景（約７５文字）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○を用いた研究から、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○の理解は大きく進展した[文献]。４４．(4３)の内容をさらに詳しく（約７５文字）○○○○○○○○○○○○○○○○○○であることが知られており、○○○○○○○○○○○○○○○○○○と考えられる。しかし、４５．対象分野において問題が生じている原因（約３０文字）○○が困難であることから、４６．研究テーマ（約５０文字）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○はほとんど明らかにされていない。  　また、４７．研究テーマ（簡潔）○○○○○は４８．(43,44)とは別の切り口（約３０文字）○○○○○○○○○○の問題においても重要である。 ４９．(48)の説明（問題点）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○しており、実際、５０．実際に問題であることの証拠○○○○○○○○○○○○であることが報告されている[文献]。こうした観点からも、５１．研究テーマ（簡潔）○○○○○を定量的に理解する必要が高まっている。 |

(2) 研究目的・内容（図表を含めてもよいので、わかりやすく記述してください）

　① 研究目的、研究方法、研究内容について記述してください。

　② どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記入してください。

　③ 共同研究の場合には、申請者が担当する部分を明らかにしてください。

　④ 研究計画の期間中に異なった研究機関（外国の研究機関等を含む）において研究に従事することを予定している場合はその旨を記載

してください。

|  |
| --- |
| ５２．(44)とは別の言葉で、研究テーマの背景を説明（約４０文字）○○○○○○○○○。５３．似た分野（対象が違う、解析手法が同じなど）での状況（文全体で約５０〜７５文字）では、XX<研究すること>XXが明らかになりつつある。５４．今回の研究対象での状況（文全体で約５０〜７５文字）においても、XX<研究すること>XXの存在が予想されているものの、詳細は全く明らかにされていない。  　これまで、XX<研究すること>XXの研究は主に、５５．研究テーマの現状（約２５文字）を扱っていた。しかし、５６．(55)の問題点（文全体で約７５文字）○○○○○○○○○であり、○○○○○○○○○○○であることから、○○○○○○○○○○○○○○することは困難であった。その一方で、５７．(56)の問題を回避するアイデアの根拠（文全体で約７５文字）○○○○であること、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○であることが知られている。また、５８．(57)ほどは強くない根拠（約２５文字）○○○○○○○との報告もなされている。こうした５９．(57,58)のまとめ○○○○○○○ことは、これまでの問題点を克服し、６０．XX<研究すること>XXに対する○○○を明らかにするための良いモデル系となることが期待された。  　この考えに基づき、本研究では以下の実験を行うことで、６１．研究内容○○○○○を明らかにし、○○○○○○○○○○○○一般の理解へとつなげることで、最終的には○○○○○○を明らかにすることを目指す。 |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　申請者登録名

|  |
| --- |
| （研究目的・内容の続き）  （１）研究計画１  　申請者はこれまで６２．計画１を行う簡単な背景、自分の経歴にひきつけて（約３０文字）を明らかにしてきた。XX<研究すること>XXも６３．研究のアイデア○○○○である可能性が考えられ、実際に６４．研究のアイデアの傍証○○○○○○○○○では、○○○○○○○○○であると考えられている。しかし、６５．(62)が困難であった理由○○○○○○○○であったこと、○○○○○○○○○○○○○○○○することが困難であることから、６６．研究すること○○○○○○○は明らかにされておらず、○○○○○○○○○○○○○○との関係も不明であった。  　しかし、近年になって６７．研究する分野における追い風○○○○○○が相次いで報告され、申請者がこれまで行ってきた６８．技術的な進展○○○○○が可能となった。そこで、６９．具体的にすること○○○○○○○○○○○○○を○○○○○○○○○○することで、○○○○○○○○○○を明らかにする（図３）。このことは、研究計画２以降と絡めて○○○○○の重要な手がかりとなる。  図３　「何をするか」を審査員にわかりやすく示すための図をいれます。  図・説明文の幅や高さについて諸注意は図１と同じです。  計画全てについては説明できませんので、一番重要かつ手堅い計画１に絞って説明します。  計画全体のフローチャートを入れる人もいますが、あってもなくても良いような図であれば入れないほうが良いです。  （２）計画２  図３　見出し  分野外の人にも図の見方がわかるように説明します。可能であれば、左の本文と高さがおなじになるように図や説明文の幅や長さで調節します。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  　７０．計画２を正当化する根拠1（約３０文字）○○○○○○○○。また、７１．計画２を正当化する根拠2（約３０文字）○○○○○○○○。また、７２．計画２を正当化する根拠３（約３０文字）○○○○○○○○。これらのことは、７３．研究のアイデア○○○○○○○○○しており、○○○○○○○○○○○○ている可能性を示す。こうしたことから、７４．具体的なアイデア○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○できる可能性がある。  （２−１）計画２−１  ７５．具体的にすること○○○○○○○○○○○○○○○○である、○○○・○○○について○○○○○○○○○○○○○○○○や○○○○○○○○との関係を明らかにすることで、○○○○○○○○○○○し、○○○○○○○○○○○を○○○○○○○の立場から見直す。  （２−２）計画２−２  　７６．この計画の背景を簡潔に説明する（約３０文字）○○○○○。これを利用して、７７．具体的にすることを説明する（文全体で約５０〜７５文字）○○○○○○を行い、○○○○○○○○○を明らかにする（図4）。仮に、７８．想定されるうまくいかないケース（約３０〜５０文字）○○○○○○○○といった理由などにより、うまくいかない場合には７９．代替案（約３０文字）○○○○○○○○○○○○○○○○○を行う（についても検討する）。  図4　「何をするか」を審査員にわかりやすく示すための図をいれます。  図・説明文の幅や高さについて諸注意は図１と同じです。  計画全てについては説明できませんので、一番重要かつ手堅い計画１に絞って説明します。  計画全体のフローチャートを入れる人もいますが、あってもなくても良いような図であれば入れないほうが良いです。  図4　見出し  分野外の人にも図の見方がわかるように説明します。可能であれば、左の本文と高さがおなじになるように図や説明文の幅や長さで調節します。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　申請者登録名

|  |
| --- |
| （研究目的・内容の続き）  （３）研究計画３  研究計画１・２で得られた結果を元に、８０．比較的確実な研究計画1,2の結果を組み合わせた、やや挑戦的な研究計画（約４０文字）にも取り組む。８１．(80)のこれまでの状況○○○○○○○○はこれまでにも行われてきた。しかし、   1. ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○であるため、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○を十分に検出できていない。 2. ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○である場合には、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○となってしまいっている。   という可能性が考えられた。そこで本研究では、８２．具体にすること（文全体で約１００文字〜）○○○○○○○○○○○○することで、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○を行う。また、○○○○○○○○○○である可能性も考慮し、○○○○○○○○○○についても解析を行う。  　仮に予想通りの結果にならなくとも、少なくとも８３．最低限、達成できること○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○かどうかについては明らかに出来るため、これを利用して○○○○○○○○○○○○○○○○について検討する。 |

(3) 研究の特色・独創的な点

　　次の項目について記載してください。

　　　① これまでの先行研究等があれば、それらと比較して、本研究の特色、着眼点、独創的な点

　② 国内外の関連する研究の中での当該研究の位置づけ、意義

　　　③ 本研究が完成したとき予想されるインパクト及び将来の見通し

|  |
| --- |
| 1．研究対象の新奇性  　８４．研究対象は○○○○○○○○に対して多くの影響を与えるにもかかわらず、解析は遅れていた。８５．研究計画のメリット１○○○○は○○○○○○○○○○であるため、○○○○○○○○○○に対する○○○○○○○○○○○を明らかにするための良いモデル系である。さらに８６．研究計画のメリット２○○○○○○○○○○○に着目して研究を進めることでこれまでの知見・技術が応用できる。こうしたアプローチはこれまでと全く異なっており、新奇性および独自性は高い。  2、研究の位置づけ・意義  　これまで、８７．研究対象の研究は、８８．これまでの状況。(55)に近い○○○○○○を中心に行われてきた。本研究は、８９．研究の方法○○○○○○を○○○○○○○といった視点で解明することを目指す初めての例であり、これまでの９０．これまでの方法との比較○○○○○○とは一線を画すものである。また、本研究は９１．研究の特徴○○○○○○であることから、○○○○や○○○○など幅広い○○○に対する理解を深めることが可能である。  3、研究分野の発展性  　９２．研究対象が○○○○や○○○に与える影響は、９３．応用・実際・一般において問題となる。本研究は９４．アイデアを切り口に９５．応用・実際・一般における９６．ゴールを明らかにすることを目的としている。９６．ゴールは○○○○以外にも様々な○○○○に関与していることから、より一般的（普遍的）な研究分野へ発展していくことが期待される。 |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　申請者登録名

(4) 年次計画

　　１～３年目について年次毎に記載してください。元の枠に収まっていれば、年次毎の配分は変更して構いません。

|  |
| --- |
| （１年目）  （１）研究計画１  　９７．計画１の内容を簡潔に説明（約３０文字）○○○○○を行う。９８．計画１の内容をもう少し詳しく説明（文全体で５０〜７５文字）○○○○○することで、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○を行う。  （２−１）研究計画2-1  　９９．計画２-1ですること1を説明（文全体で７５文字）○○○○○○○○について検討し、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○する方法を確立する。これにより、１００．すること1で達成できることを説明（文全体で約５０文字）○○○○○○することを可能にする。さらに、１０１．計画２-1ですること２を説明（文全体で５０〜７５文字）○○○○○○○○行い、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○を決定する。  （２−2）研究計画2-2  　１０２．計画２-2ですること1を説明（文全体で７５文字）を行う。また、この解析から１０３．計画２-2の発展が明らかになった場合は、○○○○○○○○○○および○○○○○○○○○○○○○○○の解析から○○○○○○○○○○○○○○について明らかにする。逆に、○○○○○○などの理由で、予想取りにいかない場合には１０５．代替プラン(79)の説明を行う。  （２年目）  （１）研究計画1（続き）  　１年目に引き続き、２年目の前半は１０５．(98)と同じ○○○○○○○○○○○○○を行う。後半は、１０６．研究計画1ですること２○○○○○および○○○○○の解析を通じて、○○○○○○○○○○を明らかにする。  （２−１）研究計画2-1（続き）  　１年目で開発した１０７．研究計画2-1・1年目でしたこと○○○○○○○○○○を用いて、１０８．２年目ですること○○○○○○○○○○○○○を行う。１０９．すでに準備出来ていること○○○○○○○○○○○○については受入研究室ですでに開発済みのものを用いる。  （２−２）研究計画2-1（続き）  　１年目の成果をもとに、１１０．２年目ですること○○○○○○○○○○○○○を行う。また、１１１．研究計画1ですること２○○○○○および○○○○○の解析を通じて、○○○○○○○○○○を明らかにする。  （３年目）  （３）既存の理論および新しい理論との比較  　研究計画１・２で得られた結果をもとに、１１２．研究３ですることを説明（約３０文字）○○○○○○を行う。これにより、１１３．達成できることの説明○○○○○○○○○○○を明らかにする。  これらの成果をまとめ、論文として発表する。 |

申請者登録名

(5) 受入研究室の選定理由

採用後の受入研究室を選定した理由について、次の項目を含めて記載してください。

① 受入研究室を知ることとなったきっかけ、及び、採用後の研究実施についての打合せ状況

② 申請の研究課題を遂行するうえで、当該受入研究室で研究することのメリット、新たな発展・展開

※　個人的に行う研究で、指導的研究者を中心とするグループが想定されない分野では、「研究室」を「研究者」と読み替えて記載してください。

研究機関移動の要件について、実質的な研究機関移動と認められるか否かは採否の重要な判断基準となります。「実質的な研究機関移動」に該当しない研究室を選定したと判断される可能性が見込まれる場合（特に以下の(ア)～(エ)に該当する場合）には、博士課程での研究の単なる継続ではなく、研究環境を変えて、新たな研究課題に挑戦するための実質的な研究機関移動であることを研究室の選定理由と関連づけて説明してください。

(ア) 申請者の出身研究室に同時期にいた研究者を受入研究者とすること。

(イ) 研究指導の委託先で研究を続けること。

(ウ) 大学院在学当時の指導者が転出し、その後継者を受入研究者とすること。

(エ) 申請書の「研究業績」欄に記載のある論文の共著者を新たな受入研究者としている場合において、申請書の研究計画が博士課程

での研究の単なる延長と見られる恐れがあるもの。

|  |
| --- |
| １１４．○○○の理解には△△△とXXXを包括的に理解することが重要である。しかし、これまでは△△△およびXXXの専門家がそれぞれの立場で研究を行っているのみで、両者の融合を強く意識した研究はほとんど行われていない。申請者は△△△の専門家としての立場から◯◯◯の研究を行ってきた。一方、派遣を希望する◯◯◯大学の◯◯◯博士の研究室では、XXXの専門家の立場から◯◯◯に関する研究を行っている。申請者がXXXの研究を行うことは、△△△とXXXの融合につながり、細分化された○○○○を統合・再生させる試みの基盤となる。  　また本研究計画は、○○○○学・○○○○学・○○○○学・○○○○学など、多彩な学問的知識を背景とする。こうした多くの領域にまたがる研究は、有益な知識・技術を持つ者との緊密な連携が鍵を握る。○○○○研究の最新の動向・技術に加え、多様な学問的背景を持つ研究者の集まる○○大学○○科に所属することは非常に効率的である。  　以上の理由により、申請者は◯◯◯博士の下で研究を行い、XXXの知識・技術を身につけることを希望する。◯◯◯博士は現在の指導教官である◯◯◯博士とは旧知の仲であり、申請者自身の研究内容に関してもよく理解しており、受け入れにあたっての問題は無い。 |

(6) 人権の保護及び法令等の遵守への対応

本欄には、研究計画を遂行するにあたって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など法令等に基づく手続きが必要な研究が含まれている場合に、どのような対策と措置を講じるのか記述してください。例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査、国内外の文化遺産の調査等、提供を受けた試料の使用、侵襲性を伴う研究、ヒト遺伝子解析研究、遺伝子組換え実験、動物実験など、研究機関内外の情報委員会や倫理委員会等における承認手続きが必要となる調査・研究・実験などが対象となりますので手続きの状況も具体的に記述してください。

なお、該当しない場合には、その旨記述してください。

|  |
| --- |
| 申請研究は「１１５．関連する法令等◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯」ならびに「◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯」および、「◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯」・△△大学の「◯◯◯◯◯規程」を遵守しておこなわれる。◯◯◯◯◯◯◯（例:使用する遺伝子組換え体）◯◯◯はこれらの法律、規定などに定められた適切な設備において取り扱われる。 |

申請者登録名

4．研究業績（下記の項目について申請者が中心的な役割を果たしたもののみ項目に区分して記載してください。その際、通し番号を付すこととし、該当がない項目は「なし」と記載してください。申請者にアンダーラインを付してください。業績が多くて記載しきれない場合には、主要なものを抜粋し、各項目の最後に「他○報」等と記載してください。査読中・投稿中のものは除く）

(1) 学術雑誌等（紀要・論文集等も含む）に発表した論文、著書（査読の有無を区分して記載してください。査読のある場合、印刷済及び採録決定済のものに限ります。）

著者（申請者を含む全員の氏名（最大20名程度）を、論文と同一の順番で記載してください）、題名、掲載誌名、発行所、巻号、pp開始頁－最終頁、発行年をこの順で記入してください。

(2) 学術雑誌等又は商業誌における解説、総説

(3) 国際会議における発表（口頭・ポスターの別、査読の有無を区分して記載してください）

　　　著者（申請者を含む全員の氏名（最大20名程度）を、論文等と同一の順番で記載してください）、題名、発表した学会名、論文等の番号、場所、月・年を記載してください。発表者に○印を付してください。（発表予定のものは除く。ただし、発表申し込みが受理されたものは記載しても構いません。）

(4) 国内学会・シンポジウム等における発表

　　　(3)と同様に記載してください。

(5) 特許等（申請中、公開中、取得を明記してください。ただし、申請中のもので詳細を記述できない場合は概要のみの記述で構いません。)

(6) その他（受賞歴等）

|  |
| --- |
| （１）学術雑誌等（紀要・論文集等も含む）に発表した論文、著書  1. **Yamada Taro**, Saito Hanako, OOO OOO, and XXX XXX. “１１６．業績Title oooooo oooo oooooo ooooo.” *Nature*, Nature Publishing Group, 100巻2号, pp100-102, 2016年 [査読あり]  2. **山田 太郎**、斉藤 花子、○○ ○○、△△ △△. 「ナウマン象の卵におけるグルタミン酸含有量」、象の世界、象出版、10巻5号、pp100-102、2015年 [査読なし]  （２）学術雑誌等又は商業誌における解説、総説  なし  （３）国際会議における発表  3. ○**Yamada Taro**, Saito Hanako, OOO OOO, and XXX XXX. “Title ooooooo ooooo oooo oooooo ooooo.”, Annual Meeting of Elephant World, E03S, Nojiriko University, 1月・2016年  4. ○**Yamada Taro**, Saito Hanako, OOO OOO, and XXX XXX. “Title ooooooo ooooo oooo oooooo ooooo.”, Annual Meeting of Elephant World, E03S, Nojiriko University, 1月・2016年  5. ○**Yamada Taro**, Saito Hanako, OOO OOO, and XXX XXX. “Title ooooooo ooooo oooo oooooo ooooo.”, Annual Meeting of Elephant World, E03S, Nojiriko University, 1月・2016年  （４）国内学会・シンポジウム等における発表  6. ○**山田 太郎**、斉藤 花子、△△ △△、△△ △△. 「ナウマン象の卵で作る目玉焼きの味と栄養価についての検討」、日本目玉焼き学会、A01、野尻湖大学、5月・2015年  7. ○**山田 太郎**、斉藤 花子、△△ △△、△△ △△. 「ナウマン象の卵で作る目玉焼きの味と栄養価についての検討」、日本目玉焼き学会、A01、野尻湖大学、5月・2015年 |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　申請者登録名

|  |
| --- |
| （研究業績の続き）  （４）国内学会・シンポジウム等における発表　の続き  8. ○**山田 太郎**、斉藤 花子、△△ △△、△△ △△. 「ナウマン象の卵で作る目玉焼きの味と栄養価についての検討」、日本目玉焼き学会、A01、野尻湖大学、5月・2015年  9. ○**山田 太郎**、斉藤 花子、△△ △△、△△ △△. 「ナウマン象の卵で作る目玉焼きの味と栄養価についての検討」、日本目玉焼き学会、A01、野尻湖大学、5月・2015  （５）特許等  なし  （６）その他  10. ベストポスター賞　第20回 日本目玉焼き学会、野尻湖大学、5月・2015年  11. プレスリリース　「ナウマン象の目玉焼きを現代に再現！」、2015年4月15日  ○○新聞 4月15日夕刊33面　および　○○新聞 4月15日朝刊9面に掲載 |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　申請者登録名